

農業構造転換推進セミナー

## 施策の紹介

# 国営農地再編整備事業の事業効果について (大雪東川第一地区、第二地区の事例)

---

令和8年9月17日

北海道開発局 農業水産部 農業振興課



国土交通省

北海道開発局

共に北海道の未来を創る  
第9期北海道総合開発計画

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

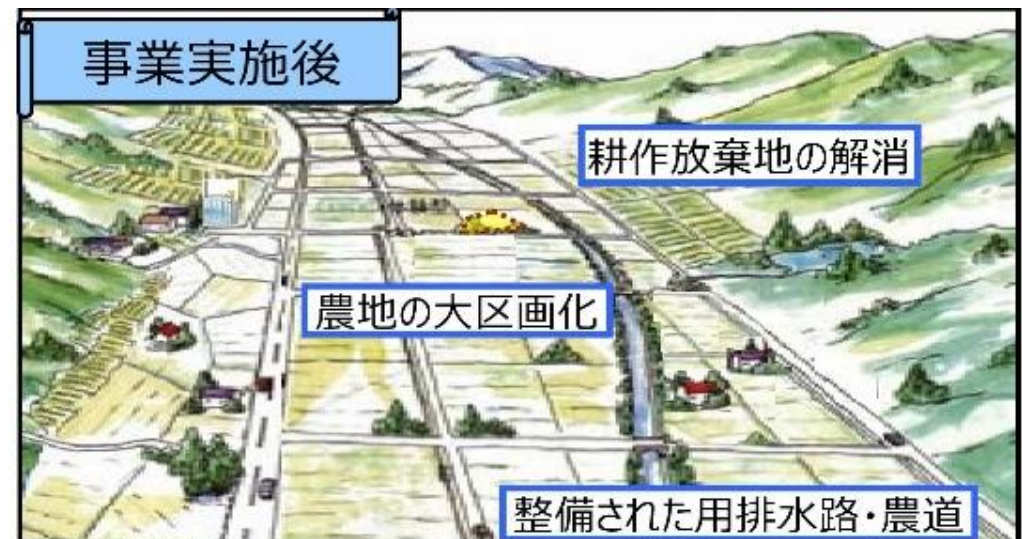
北海道開発局ホームページへはこちらから。



今後も担い手の減少が予想されていますが、地域の農業生産を維持し、食料供給力を確保するためには、地域の農業の方向性を踏まえつつ、スマート農業等の活用に向けた農地の大区画化や用排水施設等の基盤整備による生産コストの低減や維持管理の省力化を図る必要があります。

国営農地再編整備事業は、国が主体となって広域にわたる農地の大区画化や用排水等の整備を行い、担い手への農地の集積・集約化を進めるとともに、スマート農業等に対応した基盤整備を進め、生産コスト低減などによる産地の収益力の向上を目指す事業です。

## < 事業イメージ >

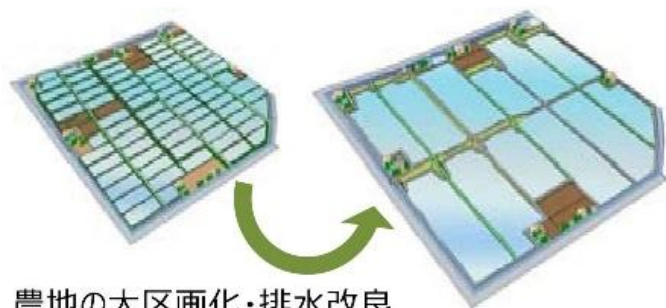


国営農地再編整備事業による農地の大区画化・排水改良等においては、地下かんがい可能な施設やターン農道なども整備することができます。

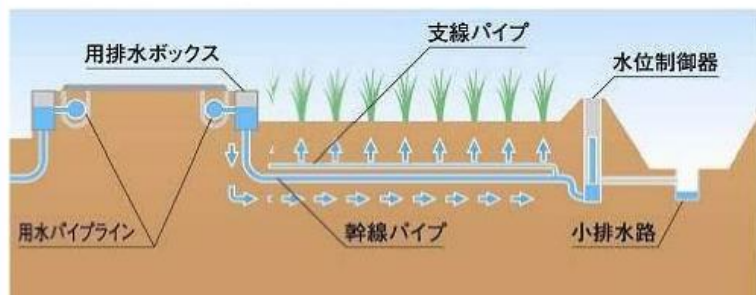
事業を契機として、担い手への農地の集積・集約化が進められるとともに、スマート農業等に対応した基盤整備により、生産コスト低減や高収益作物導入などによる産地の収益力の向上が図られます。

## 農地の大区画化・排水改良等

- 農地の大区画化や排水改良（地下かんがいシステムの導入等）を実施



農地の大区画化・排水改良  
担い手への農地集積



地下かんがいシステムの導入※

※ほ場の排水整備である、暗渠排水と暗渠管を利用した地下からの給水（地下かんがい）を両立させたシステム

## 産地収益力の向上等

- 自動走行農機等に対応した農地の大区画化等と合わせ、直播栽培や自動走行農機等の省力化技術の導入を促進し、生産コストを低減



米の直播栽培技術



衛星測位データを基地局で補正することにより、高精度の自動走行が可能。



農機の旋回を容易にし、作業効率を向上させるターン農道の整備



営農作業上の障害を除去する用水路の管路化

- 高収益作物への転換を促進



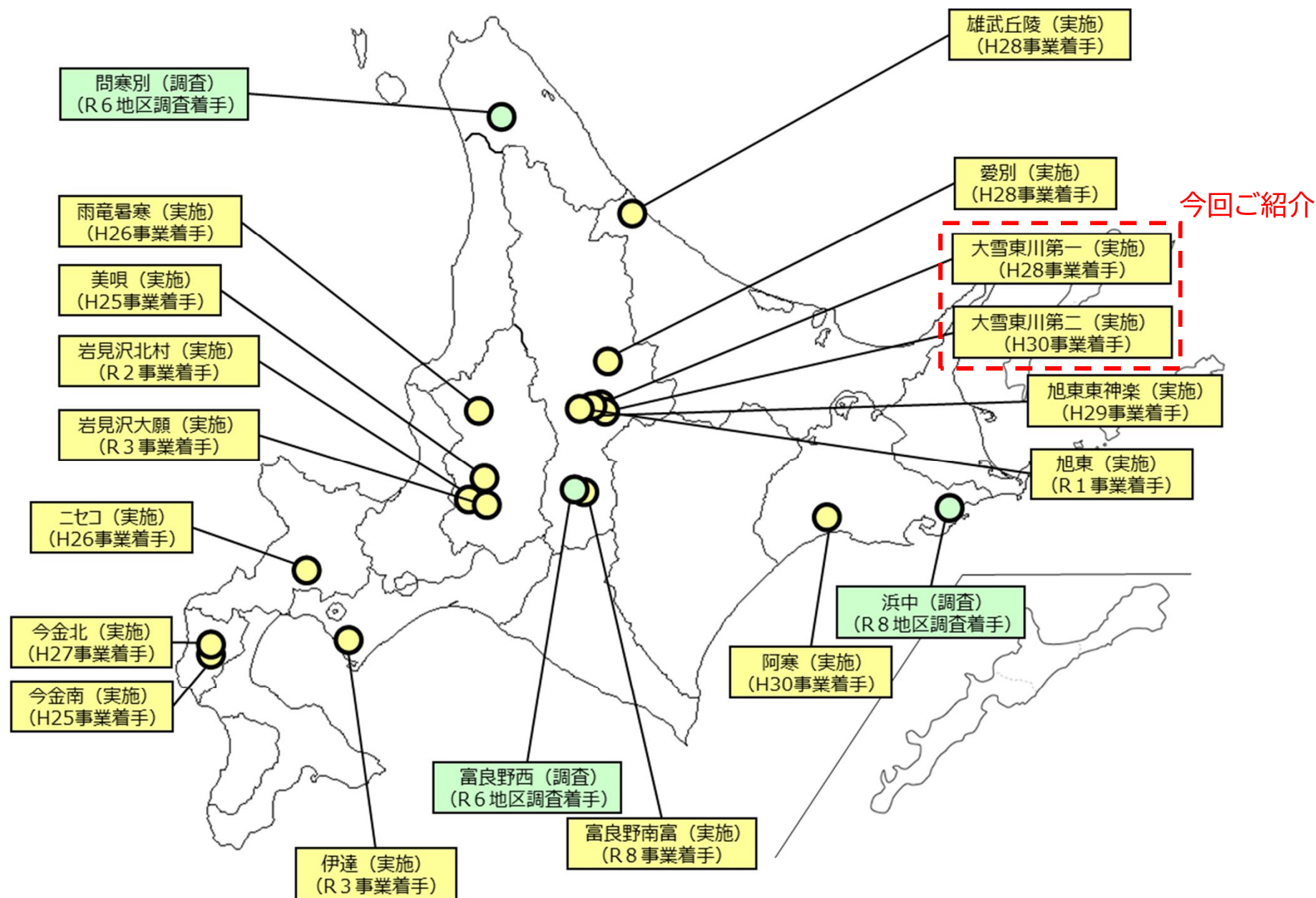
たまねぎの生産拡大

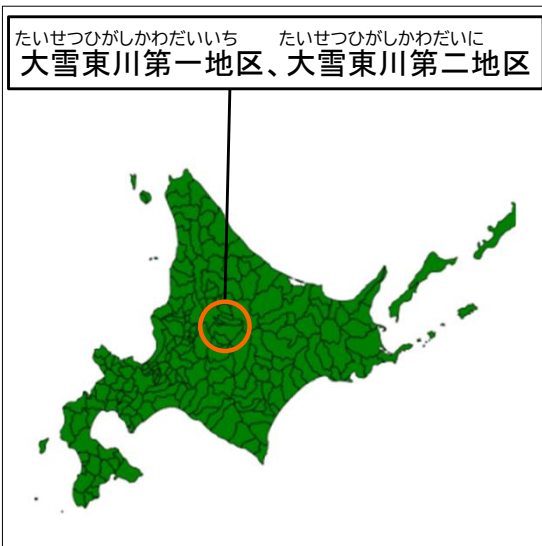


キャベツの生産拡大

# 北海道内の国営農地再編整備事業の実施状況

○現在、北海道において国営農地再編整備事業は16地区で実施し、3地区で地区調査を実施しています。





- 一級河川石狩川水系忠別川及びその支流沿いの農業地帯。
- 水稻は産地独自の基準「東川米信頼の証10か条(GAP含む)」を定め、高品質な「東川米」を生産・販売。「東川米」は、北海道米初となる地域団体商標に登録。
- 水稻のほか、ブロッコリー等の露地野菜、トマト・ネギ等の施設野菜を組み合わせた農業経営を展開。野菜類はJA独自の厳しい農業生産工程管理(GAP)により「ひがしかわサラダ」のブランドで全国へ販売展開。

## 大雪東川第一地区(工期:H28~)

受益面積:1,157ha

主要工事計画

区画整理(田) 1,126ha

区画整理(畑) 31ha

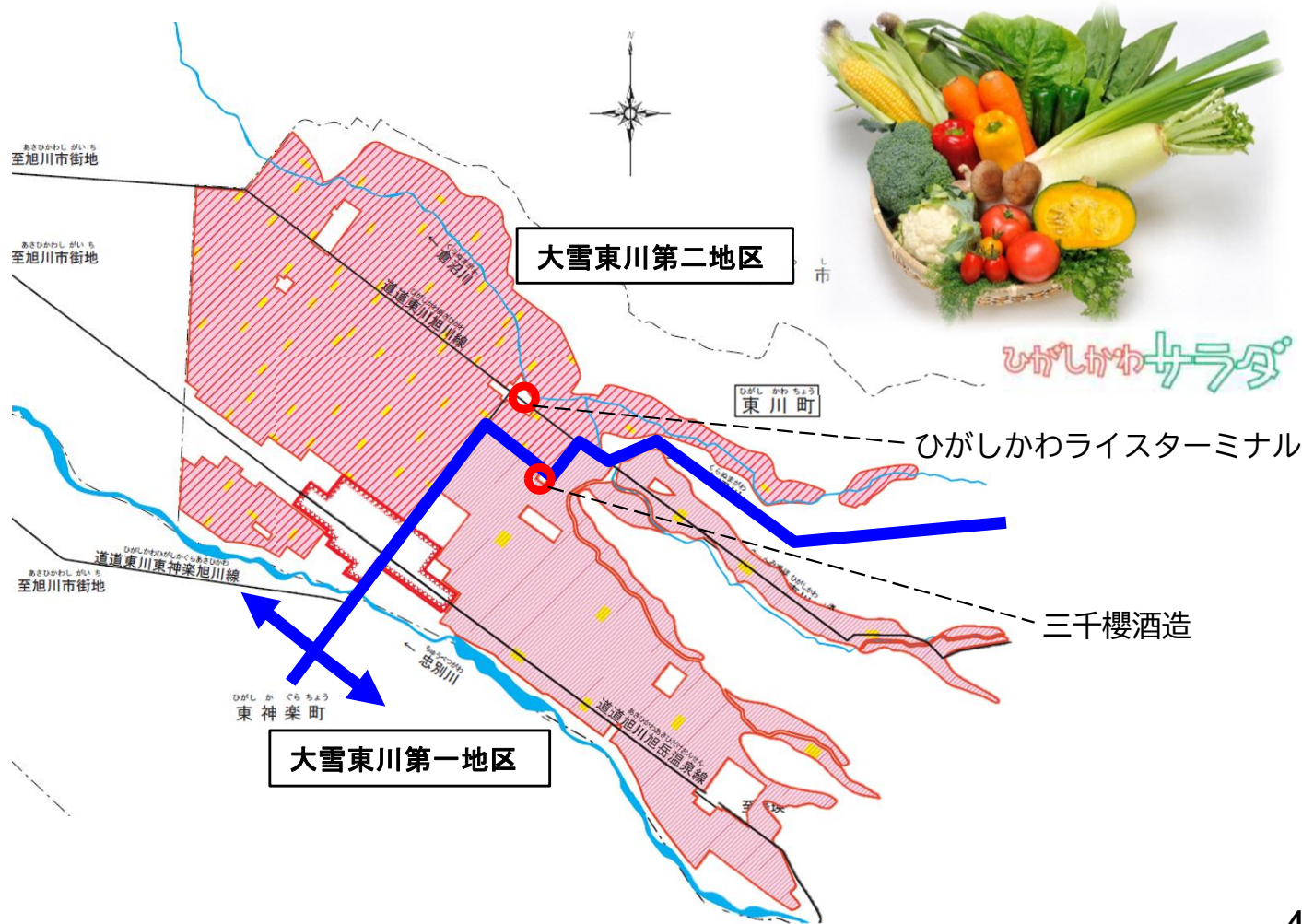
## 大雪東川第二地区(工期:H30~)

受益面積:1,639ha

主要工事計画

区画整理(田) 1,603ha

区画整理(畑) 36ha



○事業実施前は、小区画で石礫が多く、排水不良が生じ、効率的な農作業の妨げとなっていました。

## ○事業実施前の状況



【不整形で小区画なほ場(0.3ha)】



【石礫過多なほ場】



【排水不良なほ場】

○事業により区画整理を行い、ほ場の大区画化や排水性の向上を図ります。

## ○主な整備内容



【表土剥ぎ】

始めに表土を剥ぎ基盤を出す  
(後で表土は戻す)



【基盤切盛】

基盤全体の勾配や起伏を整える



【用水路・排水路(管水路化)】

開水路を管水路にして農道等の用地を確保



掘削・配管



【暗渠排水】

排水性を良くする暗渠管をほ場に設置



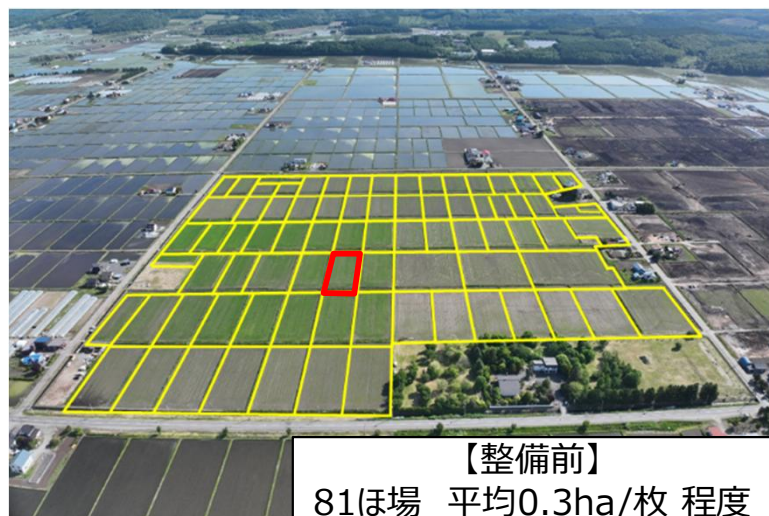
疎水材投入



【農道(盛土)】

大区画化に合わせた新たな農道を設置

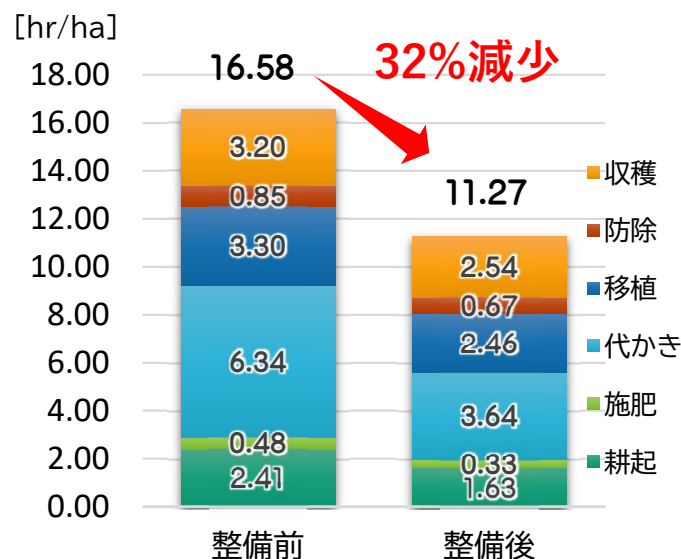
○大区画化により、機械のほ場内の巡回回数の減少、大型化等によって機械作業が効率化するなどにより営農時間が縮減し、経営体当たり面積拡大の契機となっています。また、ブロッコリーは自動収穫機が導入されることで、更なる省力化に繋がっています。



整備後のほ場では機械が大型化



ほ場機械作業時間（水稻）

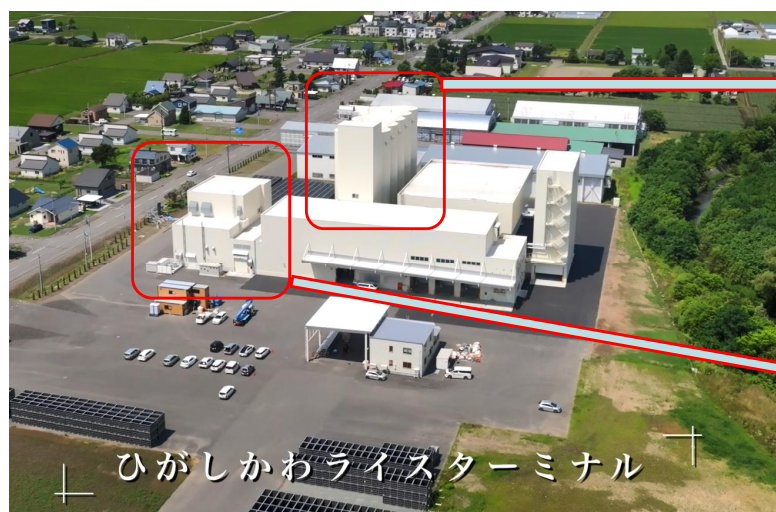


作付が拡大するブロッコリー



# 地域の取組(ひがしかわライスターミナル)

○JAひがしかわは、農地の大区画化を契機とした経営体当り面積の拡大を見据え、令和4～5年度に「農産物等輸出拡大施設整備事業」を活用し、「ひがしかわライスターミナル」を建設。生産者の収穫後の乾燥等作業に関する負担軽減と共に、高鮮度で安全・安心な米の安定供給が可能となりました。



米穀乾燥調製貯蔵施設(令和7年稼働)



施設稼働後は玄米ではなく  
粳の状態出荷できるよう  
になり、生産者の収穫後の乾  
燥等作業に関する負担軽減と  
米の鮮度維持に繋がっていま  
す。

機能性精米工場(令和6年稼働)

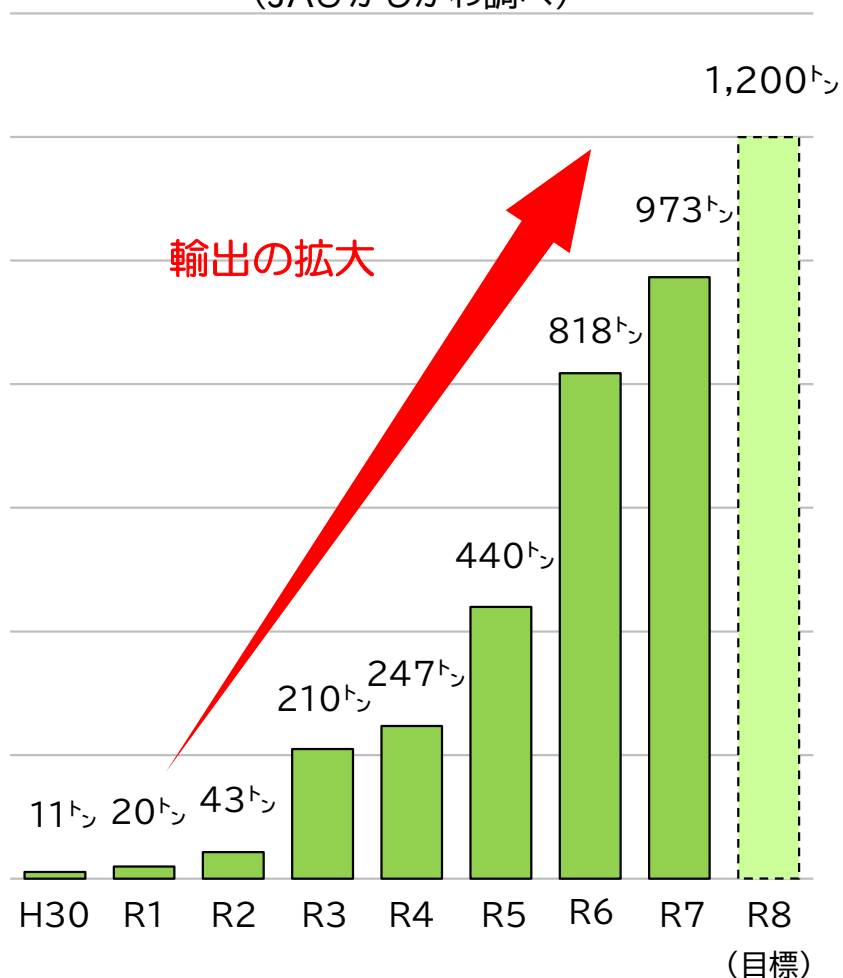


250℃の過熱蒸気(地下水)を  
玄米に噴射し、玄米表面を殺虫  
殺菌処理する。船便の輸出など、  
精米後の長期間の品質維持が可  
能となりました。

その他、精米時の糠の残量を調  
整して栄養価を高めることもで  
きます。

○JAひがしかわは、高品質な「東川米」のさらなる需要開拓のため、香港、台湾への輸出を皮切りに欧州及び米州等への輸出販路の拡大に取り組み、「世界に誇る東川米ブランド」の確立を目指しています。

東川町の米の輸出実績・目標  
(JAひがしかわ調べ)



東川米輸出実績(R7)

| 輸出国     | 輸出形態         | 輸出実績   |
|---------|--------------|--------|
| アジア圏    |              |        |
| 香港      | 精米500kg袋     | 590.0t |
| タイ      | 無洗米2kg袋      | 102.0t |
| シンガポール  | 精米5kg袋・10kg袋 | 40.8t  |
| ベトナム    | 精米、パックご飯     | 36.0t  |
| 台湾      | 玄米30kg袋      | 102.0t |
| 計       |              | 870.8t |
| 欧州圏     |              |        |
| イギリス    | 精米5kg袋・10kg袋 | 20.4t  |
| フィンランド  | 精米5kg袋・10kg袋 | 17.3t  |
| オランダ    | 精米5kg袋・10kg袋 | 4.5t   |
| 計       |              | 42.2t  |
| 北米・中南米圏 |              |        |
| アメリカ    | 玄米30kg袋      | 60.0t  |
| ブラジル    | 日本酒          | 0.3t   |
| 計       |              | 60.3t  |
| 合計      |              | 973.3t |



東川米  
輸出専用パッケージ

- 三千櫻(みちざくら)酒造は、蔵の老朽化と温暖化により酒造りが困難となったことから、寒さ、環境、きれいな水のある東川町へ、令和2年に岐阜県中津川市から移転しました。
- 契約栽培された酒造好適米を使用し、大雪山系旭岳に由来する水とその水がつくる東川米の付加価値を合わせたブランド酒として展開。「世界で飲まれるHIGASHIKAWA RICE」をスローガンとして、輸出に取り組んでいます。



令和2年開業した三千櫻酒造の外観

## 【三千櫻(みちざくら)酒造】

明治10年創業の岐阜県中津川市の「三千櫻酒造」は、令和2年11月東川町へ移転し、全国的にも珍しい「公設民営型」の酒蔵として開業しました。

これにより、東川町産酒米の生産(1次)、大雪山の伏流水を用いた醸造(2次)、そして国内外への販売(3次)を一体化させた「6次産業化」を実現し、地域ブランドの確立と東川町産米の付加価値向上を強力に推進しています。

また、「世界で飲まれるHIGASHIKAWA RICE」をスローガンに掲げ、現在では年間10万リットルの生産・販売体制を確立しています。



東川町産米を使用した酒造り(放冷作業)



東川町産米を使用した商品ラインナップ



輸出専用の酒米契約ほ場と日本酒ラベル

ご清聴ありがとうございました。

令和8年9月17日

農業構造転換推進セミナー（北海道）

## 大区画化等加速化支援事業について

北海道農政部農地整備課

＜対策のポイント＞

食料・農業・農村基本計画に基づき、初動5年間で農業構造転換を推進し、生産性の向上を図るため、法人等の農業者が自ら行う畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化等の取組を支援します。

＜事業目標＞

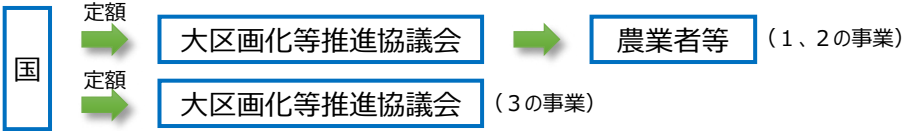
- 水田の基盤整備（約9万ha）うち、1ha以上の大区画化（約6万ha〔令和11年度まで〕）
- 基盤整備完了地区における事業実施前後での農業法人の経営農地面積の増加率（1.5倍以上〔令和11年度まで〕）

＜事業の内容＞

- 1. 農地の区画拡大や省力化整備に係る基盤整備  
畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等の簡易な基盤整備を定額で支援します。  
【定額上限】区画拡大 7万円/10a、畦畔除去 4万円/100m、暗渠排水 18万円/10a 等  
※担い手に集約化（面的集積）する場合、定額上限を1.2倍まで引上げ。  
1ha以上に大区画化する場合、定額上限を1.32倍まで引上げ。
- 2. 調査・調整活動等に係るソフト事業  
権利関係、農家意向、農地集積等に関する調査・調整活動等に要する経費を定額で支援します。  
【定額上限】300万円/地区
- 3. 大区画化等推進協議会の事務費  
大区画化等推進協議会の事務費を定額で支援します。  
【定額上限】2,000万円/協議会

【実施区域】 農振農用地区域のうち地域計画の策定区域等  
【実施要件】 農地の区画拡大を実施すること

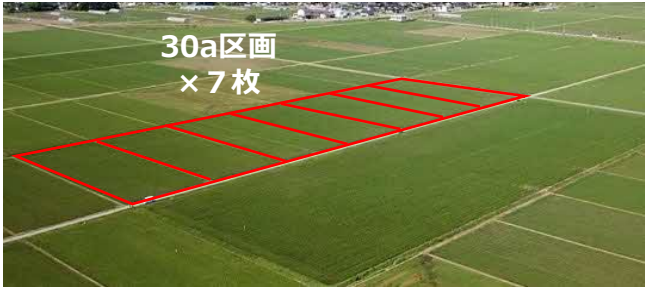
＜事業の流れ＞



※大区画化等推進協議会：各都道府県に1つずつ設置し、農業者への技術指導、交付事務等を実施。

＜事業イメージ＞

法人等の農業者が自ら施工可能な簡易な整備によって、機動的に農地の区画拡大を実施し、併せて担い手への農地集積や更なる大区画化・省力化を図ることで、競争力ある農業の実現に寄与します。



簡易な基盤整備により区画拡大



# 基盤整備の主な支援メニュー

2

| 主な事業種類         | 条件                 | 助成単価【主なもの】                 |                          |                         | 備考                                                          |
|----------------|--------------------|----------------------------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------------------------------------|
|                |                    | 1. 通常                      | 2. 集約化する場合               | 3. 大区画化する場合             |                                                             |
| 農用地の区画拡大       | 高低差10cm超<br>表土扱い有  | 27万5千円/10a<br>(46万5千円/10a) | 33万円/10a<br>(55万5千円/10a) | 36万円/10a<br>(61万円/10a)  | ( ) は水路変更（管水路化等）を伴う場合                                       |
|                | 高低差10cm以下<br>表土扱い無 | 7万円/10a<br>(25万5千円/10a)    | 8万円/10a<br>(30万5千円/10a)  | 9万円/10a<br>(33万5千円/10a) |                                                             |
|                | 畦畔除去のみ             | 4万円/100m                   | 4万5千円/100m               | 5万円/100m                |                                                             |
| 暗渠排水           | バックホウ工法            | 22万5千円/10a                 | 27万円/10a                 | 29万5千円/10a              | 助成単価の加算<br>○地下かんがい導入<br>+ 4万円/10a<br>○実施設計(外注)<br>+ 2万円/10a |
|                | トレンチャ工法            | 18万円/10a                   | 21万5千円/10a               | 23万5千円/10a              |                                                             |
| 湧水処理           | 表土扱い有              | 24万円/100m                  | 28万5千円/100m              | 31万5千円/100m             |                                                             |
| 末端畑地<br>かんがい施設 |                    | 21万5千円/10a<br>(35万円/10a)   | 25万5千円/10a<br>(42万円/10a) | 28万円/10a<br>(46万円/10a)  | ( ) は樹園地の場合                                                 |
| 客土             | 層厚10cm以上           | 27万5千円/10a                 | 33万円/10a                 | 36万円/10a                |                                                             |
| 除礫             | 深度30cm以上           | 25万円/10a                   | 30万円/10a                 | 33万円/10a                |                                                             |



## 北海道大区画化等推進協議会 - 水土里ネット北海道 HP リンク

<https://www.htochiren.jp/daikukaku/daikukaku.html>[トップページ](#)[事業の説明](#)[各種様式](#)[需要量調査](#)[お知らせ](#)[Q&A](#)[お問い合わせ](#)

## 事務局

北海道土地改良事業団体連合会  
事業部 事業管理課〒060-0005  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23  
道通ビル7F

TEL：011-206-8026(課直通と共有)

FAX：011-200-5032

E-Mail：daikukaku@htochiren.jp

## TOPICS

|               |                                                                       |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------|
| ■ 2026年07月31日 | 需要量調査を修了しました。                                                         |
| ■ 2026年06月22日 | Q A を掲載しました。<br><a href="#">こちら</a> または左のメニュー「Q & A」からご確認ください。        |
| ■ 2026年05月27日 | 需要量調査をはじめました。<br>調査票等は <a href="#">こちら</a> または左のメニュー「需要量調査」からご確認ください。 |
| ■ 2026年04月24日 | 事業説明会（Web形式）を開催します。「令和8年4月27日(月)」                                     |
| ■ 2026年04月13日 | 令和8年3月18日に北海道大区画化等推進協議会を設立しました。                                       |
| ■ 2026年04月13日 | 大区画化等加速化支援事業に係る情報提供等のホームページを立ち上げました。                                  |